

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
14041	沖縄学	2 単位 後期	1~4	講義	久万田晋・鈴木耕太・新田摂子 (コーディネーター)

## ■テーマ

琉球・沖縄の文化を考える。(今年度は「首里城と琉球・沖縄文化」をテーマとする)

## ■授業概要

2019年10月31日、首里城がその歴史上5度目となる焼失に遭った。琉球王国時代は琉球国の政治や宗教、そして文化の中心として存在し、王国がなくなった後は、荒廃していた正殿は鎌倉芳太郎・伊東忠太らの働きによって「沖縄神社」の拝殿として使用されることで解体を免れた。また、先の沖縄戦で破壊されたあと、琉球大学のキャンパスとして使用され、平成4年、正殿は復元され、首里城公園として開園した。首里城では往時を想像するようなイベントも多く行われるとともに、首里城そのものにも多くの琉球の英知が集められて建てられていることは周知の事実である。焼失した首里城の再建を前に、あらためて首里城について学ぶ機会としたい。

## ■到達目標

- ・琉球・沖縄の各分野から見た首里城を、琉球史や沖縄文化の広がりの中での確に把握し、理解すること。
- ・琉球・沖縄芸術各分野特有の美意識について十分に理解すること。
- ・自分自身の演奏・創作と対象分野の関係性を適切に把握すること。

## ■授業計画・方法 ※各講師の日程・講義内容は変更の可能性があります。

全体テーマ：首里城と琉球・沖縄文化 オリエンテーション 久万田晋・鈴木耕太・新田摂子

第1回 10月7日「首里城と『おもろさうし』」 波照間永吉 (沖縄県立芸術大学客員教授)

第2回 10月14日「首里城と琉球舞踊」高嶺久枝 (沖縄県立芸術大学教授)・樋口美和子 (博士後期課程)

第3回 10月21日「首里城と組踊」鈴木耕太 (附属研究所准教授)

第4回 10月28日「首里城と歴史 (政治)」麻生伸一 (全学教育センター准教授)

第5回 11月11日「考古学から考える首里城」森達也 (全学教育センター教授)

第6回 11月18日「首里城と民俗文化」赤嶺政信 (琉球大学名誉教授)

第7回 11月25日「首里城と民俗芸能」久万田晋 (附属研究所教授)

第8回 12月2日「首里城と祭祀」照屋理 (名桜大学上級准教授)

第9回 12月9日「首里城と琉球音楽」金城厚 (沖縄県立芸術大学客員教授)

第10回 12月16日「首里城の建築様式と色」安里進 (沖縄県立芸術大学名誉教授)

第11回 12月23日「首里城と琉球絵画」小林純子 (美術工芸学部教授)

第12回 1月13日「首里城と漆芸文化」當眞茂 (美術工芸学部准教授)

第13回 1月20日「首里城と金工文化」栗国恭子 (沖縄県立芸術大学非常勤講師)

第14回 1月27日「首里城と染織文化」新田摂子 (附属研究所講師)

## ■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

受講生は毎回の講義で取り上げられる諸ジャンルの研究概況・作品等について、事前に学習しておく。各回の講義で取り上げられた参考文献に目を通して復習すること。

## ■成績評価の方法・基準

□方法 出席状況 (40%) と期末レポートの評価 (60%) を総合的に判断する。

※出席状況は各回のコメントシートで行う

※レポートは、本講座全体について、あるいは興味を持った特定分野・領域について執筆することとする。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

## ■教科書・参考文献 (作品) 等

講義の中で各教員が適宜指定する。

## ■備考

期間：2020年10月～2021年1月 (前期期間) の水曜日にオンデマンド配信 (YouTubeによる) を行う。

※第1回のオリエンテーションは10月1日 (水) Teams のチャットルームで行う。(12時～12時30分)